

**米価下落、
市内農家の状況と
求められる対策は**

高野 昇

(問) 九州や四国の早場米地帯で、米価が暴落している。市内農家の状況と対策は。

(答) 市長 当地域の農協の平成21年度産米については、コシヒカリ60kg当たりの仮渡金は平成20年度と同じと聞いています。

米価下落に対し市として国、県に全国一律の生産調整でなく各地域の実情に対応した生産調整を求めていきたい。

◆県の「みどりと川の再生」事業の市としての活用は

**国保税の引き下げを、
税と3割の自己負担分の
減免拡充を**

佐藤 清治

(問) 吉川市にとって、河川、農業用水・排水路等の整備は市民からも切実に求められている課題であり、早急な整備が求められている。県が河川や農業用水路の大規模な整備プランを打ち出しているとき、こうした県の事業を吉川市に活用し、市民要望に積極的に応えるべきでは。

(答) 市長 平成21年度に市民から、鍋小路用水路の遊歩道な

どの整備について応募されており、現在選考待ちです。

◆桜並木沿いの木売落し

高野 昇

(問) 二郷半用水を浄化用水として導水し、整備するよう求めてきたが、その後の進捗状況は。

(答) 都市建設部長 木売落し上流の通水について、川富地内に既存の排水路があり、そこ

の活用を葛西用水路土地改良区にお願いし、基本的には可能であるとのことであり、さらに協議検討していきます。

**新吉川駅は
「もっと広く・利用しやすく
素晴らしい駅に」**

齋藤 詔治

(問) 新駅の自由通路、現計画の壁心5m幅では狭すぎです。子どもやお年寄に大変不便です。吉川市の新たな顔・玄関

です。将来の発展も考え通路幅を広く、昇降口も大きく余裕ある、夢のある駅への変更を。

(答) 市長 平成19年に実施した

(答) 市長 平成19年度実施をを目途に考えております。

(答) 市長 来年度実施

(問) 8月30日投票の総選挙で示された、国民の民意についての感想は。また、新政権への期待するのか。

(答) 市長 我が国に生じている

(問) 国保税を引き下げて欲しいとの声に応えるべきでは。

(答) 市長 平成19年度、税率等の検討を行い20年度から施行させていただいた。

(問) 税の減免制度のさらなる拡充が求められている。

(答) 市長 平成20年度に減免要綱を改正し預貯金の要件を3倍から5倍に拡充したところ

してなく現在購入予定はない。新しい吉川市づくりにより素晴らしい視点に立ち購入をお願いします。

(答) 都市建設部長 当面購入は見直しの具体的な内容は。

(問) 国保加入者が医療機関で支払う自己負担分の減免制度の拡充が必要だ。

(問) 見直しの具体的な内容は。今後区画整理事業実施の中で、必要であれば購入の検討も考えられる。

(問) 操車場跡地の処分が平成24年度内にすべて行われます。

(問) 鉄道運輸機構の土地売却に先立ち、吉川市に対する公共用地や施設の確保・提供のお願いは、また跡地処分に関するお願い提案・指導について。

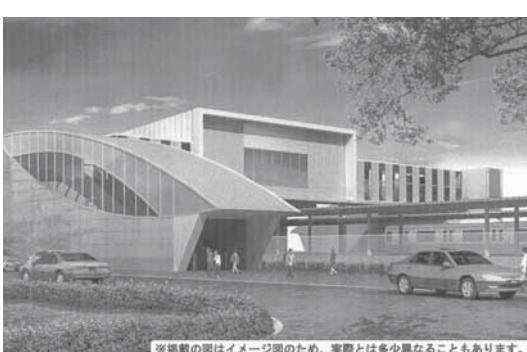
(答) 市長 まちづくり基準条例を順守し将来の土地利用や公園緑地等の基準整備等要望。

(問) 例え幅を2m広げ7mに、床面積は100m²程増え、財源的には総事業費82億円弱からみて、多大な事業費増はありません。後からでは大変、再考を強く要望。

(問) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構が所有する、旧コン

トロールセンター跡地の取得は。

(答) 市長 市としてコントロールセンター跡地の活用を想定できることがあります。



※掲載の写真はイメージ図のため、実際とは多少異なることもあります。

新駅イメージ図